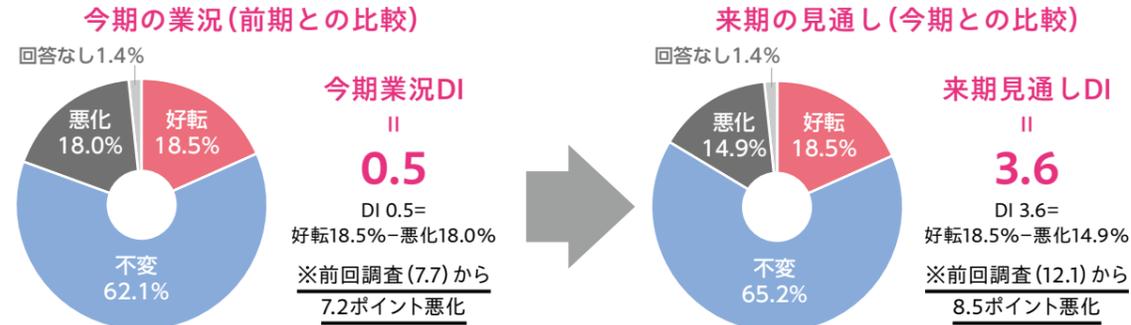


## 世田谷区における中小企業の景況

お問合せ 東京商工会議所世田谷支部 TEL: 03-3413-1461

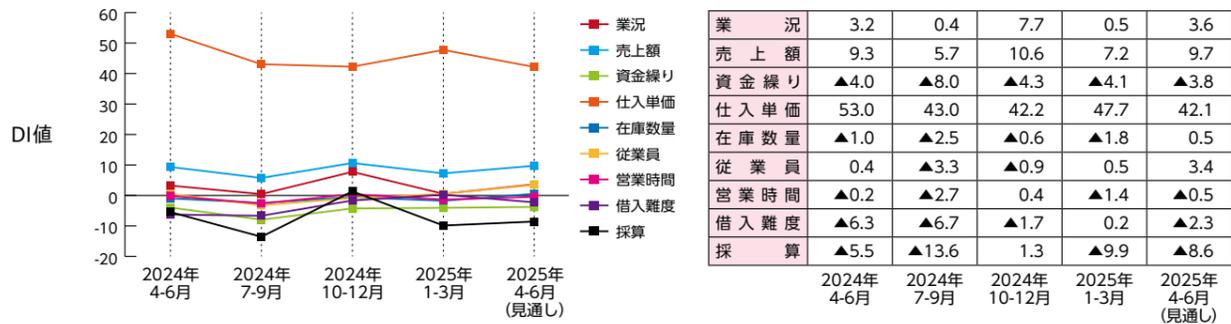
### 業況

今期(2025年1~3月期実績)の業況DIは、+0.5ポイントで前期から▲7.2ポイント悪化した。来期の業況見通しDIは+3.6ポイントとなり、前回調査より▲8.5ポイント悪化する見通し。



### 主な指標別の傾向

今期は、仕入れ単価+47.7(前期比+5.5)、借入難度+0.2(同+1.9)、従業員+0.5(同+1.4)、資金繰り▲4.1(同+0.2)の4指標でポイントが増加したが、それ以外は減少した。来期見通しでは、仕入れ単価+42.1(当期比▲5.6)、借入難度▲2.3(同▲2.5)の2指標は減少、従業員+3.4(当期比+2.9)、売上額+9.7(同+2.5)など7指標ではポイントが増加し改善が見込まれる。



### 主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入れ単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入れ単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	0.5	5.2	7.2	10.1	▲4.1	47.7	▲1.8	0.5	▲1.4	0.2	▲9.9
製造業	▲3.8	7.5	1.9	7.5	▲3.8	34.0	1.9	5.7	9.4	1.9	0.0
建設業	13.9	13.9	24.8	21.8	▲1.0	58.4	0.0	1.0	0.0	5.0	▲3.0
不動産業	14.0	11.6	20.9	20.9	4.7	34.9	4.7	7.0	4.7	0.0	0.0
卸売業	▲13.0	1.9	▲14.8	▲5.6	3.7	42.6	▲5.6	▲3.7	▲1.9	▲3.7	▲16.7
小売業	▲10.6	▲13.8	▲3.2	▲5.3	▲14.9	64.9	▲2.1	▲3.2	▲8.5	▲3.2	▲21.3
サービス業	1.0	12.1	8.1	18.2	▲5.1	36.4	▲6.1	0.0	▲4.0	0.0	▲12.1

### 主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入れ単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	3.6	9.7	▲3.8	42.1	0.5	3.4	▲0.5	▲2.3	▲8.6
製造業	▲9.4	3.8	▲3.8	26.4	▲1.9	9.4	1.9	5.7	▲7.5
建設業	9.9	16.8	▲1.0	52.5	1.0	5.9	▲3.0	0.0	▲1.0
不動産業	2.3	9.3	4.7	32.6	0.0	2.3	▲2.3	▲4.7	▲4.7
卸売業	7.4	14.8	▲3.7	37.0	11.1	3.7	0.0	▲3.7	▲11.1
小売業	▲5.3	▲1.1	▲4.3	57.4	▲3.2	3.2	▲4.3	▲4.3	▲23.4
サービス業	11.1	13.1	▲10.1	32.3	▲1.0	▲2.0	5.1	▲5.1	▲3.0

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」増加等企業割合-「悪い」減少等企業割合

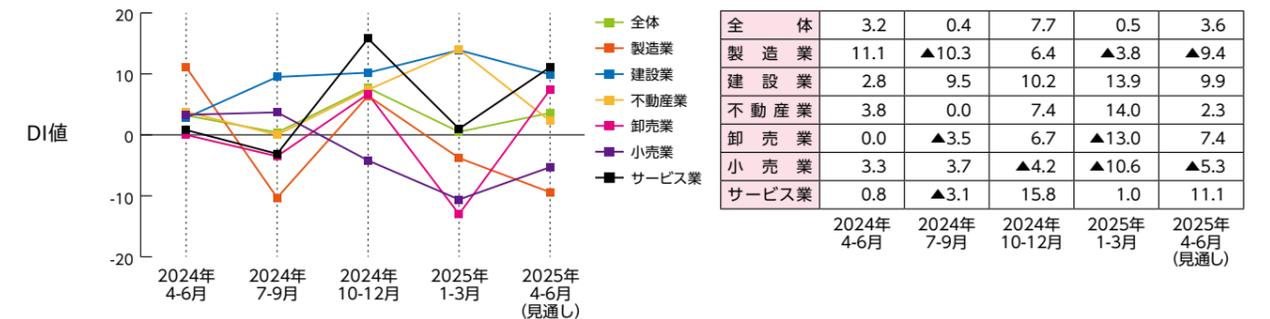
DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

### 第91回調査実施概要

1.調査時期：2025年3月20日~4月18日 2.対象期間：2025年1月~2025年3月期、および2025年4月~2025年6月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業(約3,403社) ①製造業・建設業・運輸業・その他の業種(②~④を除く)…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送~郵送・FAX・インターネットにて回収。区内金融機関に協力依頼。 5.回収状況：合計444社(回収率=13.0%) 製造業…53社・不動産業…43社・小売業(飲食業含む)…94社・建設業…101社・卸売業…54社・サービス業…99社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

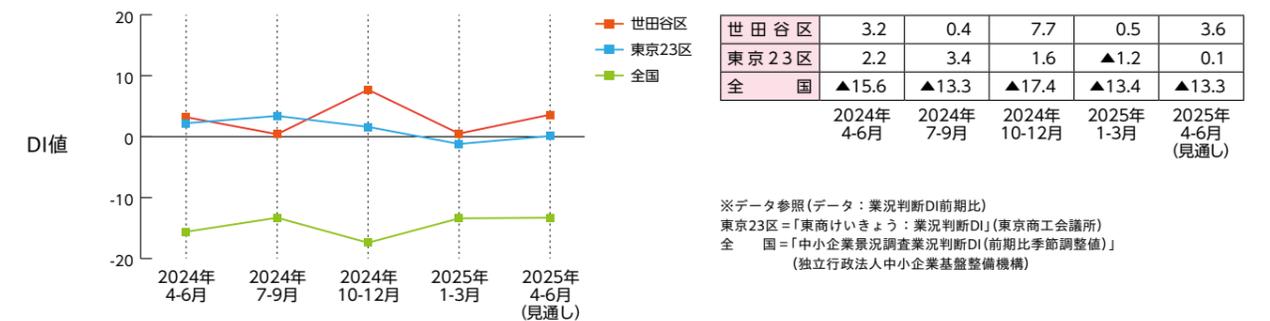
### 業種別の動向

今期の業種別DIは「不動産業」+14.0(前期比+6.6)、「建設業」+13.9(同+3.7)の2業種でポイントが改善したが、それ以外は悪化した。大きく悪化したのは「卸売業」▲13.0(同▲19.7)、「サービス業」+1.0(同▲14.8)、「製造業」▲3.8(同▲10.2)の3業種で10ポイント以上減少した。来期は「卸売業」+7.4(当期比+20.4)、「サービス業」+11.1(同+10.1)は10ポイント以上増加する見通し。



### 東京都・全国との比較

今期は「全国」(▲13.4ポイント、前期比+4.0)のポイントは増加したが、「世田谷区」は(+0.5ポイント、同▲7.2)、「東京23区」(▲1.2ポイント、同▲2.8)と減少した。来期見通しは「全国」(▲13.3ポイント、当期比+0.1)、「世田谷区」(+3.6ポイント、同+3.1)、「東京23区」(+0.1ポイント、同+1.3)と全て増加する見通し。



### 経営上の問題点

1位「仕入れ単価、下請単価の上昇」46.2%(前期比+2.9ポイント)、2位「人件費の増加」35.8%(同▲1.2ポイント)、3位「人件費以外の経費の増加」32.2%(同+0.2ポイント)、4位「従業員の確保難」26.6%(同▲0.7ポイント)と上位4位までは前回順位と同じ。5位「需要の停滞」13.3%(同+0.1ポイント)は前回順位6位から、6位「購買ニーズの変化への対応」12.4%(同▲0.6ポイント)は前回順位7位から、同じく同率6位の「金利負担の増加」12.4%(同+3.3ポイント)は前回順位9位からそれぞれ上昇した。8位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」11.7%(同▲2.2ポイント)は前回順位5位から、9位「新規参入者の進出や同業者の増加」8.3%(同▲3.0ポイント)は前回順位8位から下降。10位「生産設備の不足・老朽化」7.7%(同+2.1ポイント)は前回順位11位から上昇した。

順位	項目	回答数	回答率	前回順位	順位	項目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入れ単価、下請単価の上昇	205	46.2%	— 1	11	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	28	6.3%	↓ 10
2	人件費の増加	159	35.8%	— 2	12	事業資金の借入難	24	5.4%	↑ 13
3	人件費以外の経費の増加	143	32.2%	— 3	13	大企業(大型店)進出による競争激化	22	5.0%	↓ 12
4	従業員の確保難	118	26.6%	— 4	14	取引条件の悪化	16	3.6%	— 14
5	需要の停滞	59	13.3%	↑ 6	15	在庫の過剰	12	2.7%	— 15
6	購買ニーズの変化への対応	55	12.4%	↑ 7	16	在庫の不足	10	2.3%	↑ 17
6	金利負担の増加	55	12.4%	↑ 9	17	購買力の他地域への流出	7	1.6%	↓ 16
8	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	52	11.7%	↓ 5	17	代金回収の悪化	7	1.6%	— 17
9	新規参入者の進出や同業者の増加	37	8.3%	↓ 8	19	生産設備の過剰	2	0.5%	— 19
10	生産設備の不足・老朽化	34	7.7%	↑ 11					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。